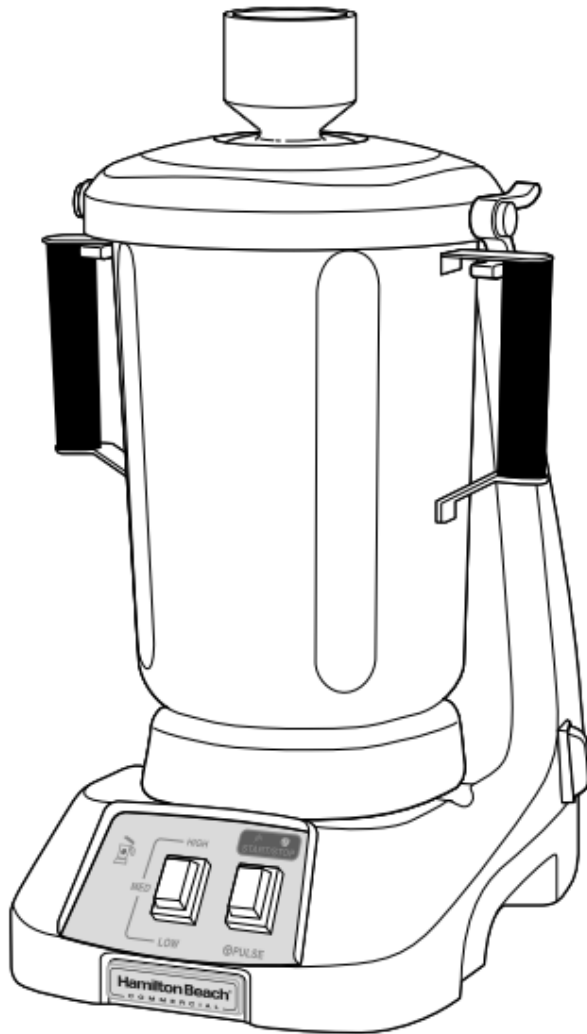




ハミルトンビーチ
フードブレンダー
取扱説明書

お買い上げありがとうございました。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
安全にご使用いただくために必ず「安全上の注意」をお読み下さい。
お読みになった後は、大切に保管して下さい。



HBF900S

安全上のご注意



警告

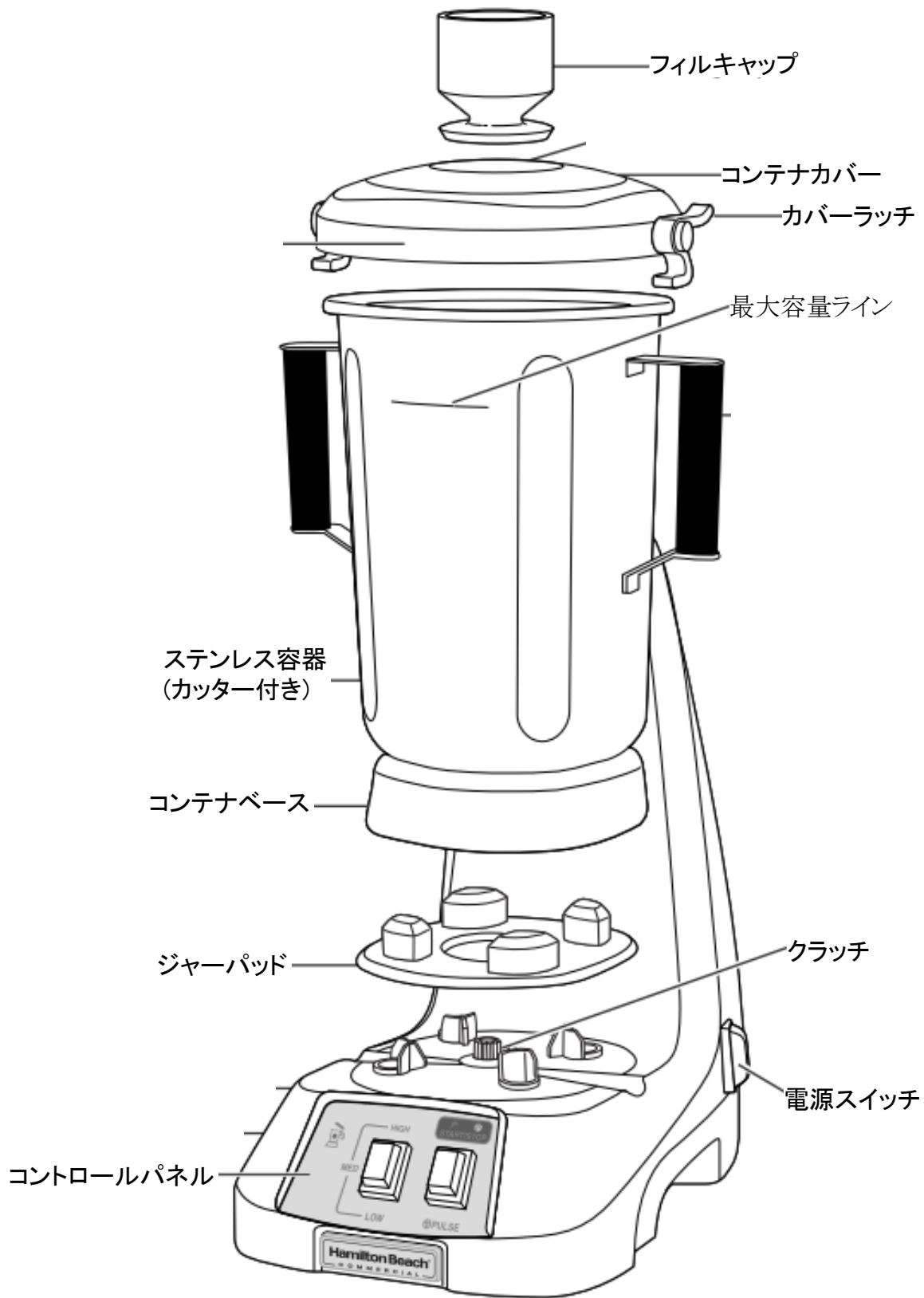
 分解禁止	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないで下さい。 発火したり異常作動してケガをしたり事故の原因となります。</p>	 水掛け禁止	<p>モーターユニットを水につけたり、水を掛けたりしないで下さい。 ショート、感電の恐れがあります。</p>
 禁止	<p>カッピングユニットを露出したままで運転しないで下さい。 ケガをする恐れがあります。</p>	 ふた開け禁止	<p>運転途中に、コンテナカバーを開けたりコンテナの中へ指、スプーン、はし等の調理材料以外を入れないで下さい。 ケガをする恐れがあります。</p>
 アース工事	<p>アースは確実につないで下さい。 アースが不完全の場合は火災や感電の原因となります。</p>	 専用電源	<p>電源コードは途中で接続したり延長コードを使用しないで下さい。 また電源コード並びに電源プラグは機具の電気容量に合った物を必ずご使用下さい、感電や発熱火災の原因となります。</p>



注意

 強制	<p>電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて下さい。 感電やショートして発火することがあります。</p>	 強制	<p>スイッチOFFを確かめてから、電源プラグを抜き差しして下さい。 感電等、ケガの原因となります。</p>
 禁止	<p>コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差込みがゆるいときは使用しないで下さい。 感電・ショート・発火の原因となります。</p>	 禁止	<p>コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。 また、重いものを乗せたり、挟み込んだりするような加工をすると、コードが破損し火災や感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>交流100V以外は使用しないで下さい。 火災や感電の原因となります。</p>	 移動禁止	<p>運転中に移動させないで下さい。 ケガの原因となります。</p>
 禁止	<p>不安定なところでは使用しないで下さい。 ケガの原因となります。</p>	 禁止	<p>運転中にコンテナ、コンテナカバーの取付、取外しは行わないで下さい。 ケガの原因となります。</p>
 強制	<p>部品の取付、取外しやお手入れをするときは必ず器具のスイッチを切り電源プラグを抜いて下さい。手を引き込まれたり感電事故の原因となる恐れがあります。 *電源プラグを抜く際には必ず機具のスイッチを切り、プラグ部分を持って抜いて下さい。</p>	 濡手禁止	<p>濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないで下さい。 感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>カッターは鋭利ですので直接手を触れないで下さい。 ケガの原因となります。</p>	 禁止	<p>危険ですので、お子様には使用させないようにして下さい。</p>

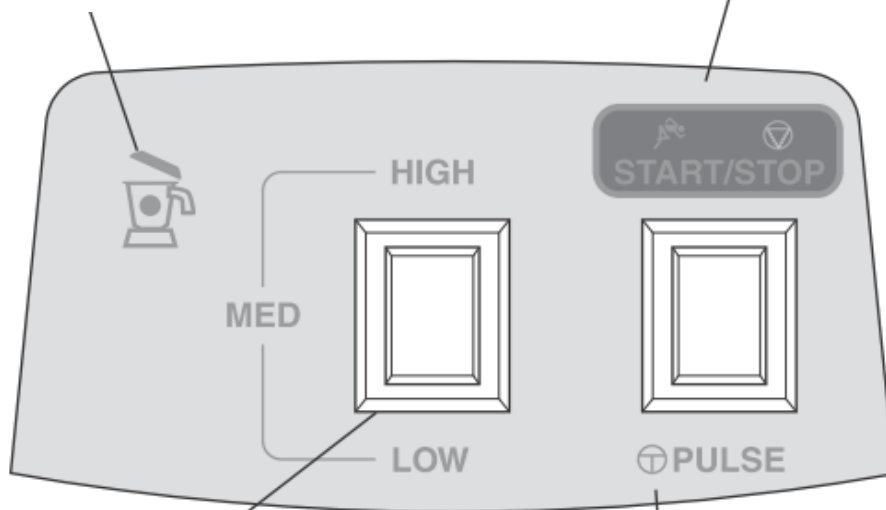
— 各部の名称 —



コントロールパネルの操作

<カバー連動表示ランプ>
コンテナカバーを閉じていないとランプが点滅します
カバーを閉じると点灯に変わり、攪拌開始できます

<スタート/ストップ>
運転したり、停止する時に押します



<スピード>
低速(Low), 中速(MED), 高速(HIGH)を選択します

<パルス>
ボタンを押している間、攪拌します

— 操作方法 —

1. 容器の中に食材を入れてから、本体にのせます
2. 電源プラグをコンセントに差します
3. 電源スイッチを ON(Ⅰ)に入れます
4. カバーラッチを確実に締めてカバーを閉じたコンテナをセットすると、点滅しているランプが消えて運転開始できます
5. お望みのスピードに設定し、START を押して運転を開始します
6. 停止する時は STOP ボタンを押します
7. 攪拌が足りない場合などは、パルスボタンを押して追加の攪拌をします

※食材全体が滑らかに攪拌されるための最低限の水分が必要となります

その量は食材、分量、塩分、糖分などメニューにより異なります

※温かいメニューを攪拌される際は、蒸気を逃がすためフィルキャップをはずして行ってください

その際、フィルキャップを取付ける開口から容器の内部を絶対に覗きこまないでください。

また、攪拌する分量は最大容量の7分目までを目安に、様子を見ながら行ってください

— お手入れ —

1. 最大容量の半量を目安にコンテナにぬるま湯を入れます
2. 低起泡洗剤、または中性洗剤を数滴入れます
3. 通常とおり攪拌を開始してください(必ずコンテナカバーを閉じてください)
4. 十分にすすぎ、しっかり乾燥させます
5. 本体は固く絞った濡れふきんで付着した汚れを拭き除き、その後は乾いたふきんで拭きます

— 定期的な確認 —

機器を長く安全・衛生的にご使用いただくため、以下の確認を定期的に行ってください。

確認の際は、コンセントから電源プラグを必ず抜いてから行ってください。

確認時期	確認内容
毎日	カッターに異常(ぐらつき・キズ)がないこと コンテナとコンテナベースがしっかり接続されており、ぐらぐらしていないこと 食材の汁や水などが著しく本体に垂れた使用をしていないこと
毎月	クラッチが著しく摩耗していないこと コンテナの取っ手がグラグラしていないこと カバーラッチで確実にコンテナカバーが閉められること 電源プラグとコンセントに付着したホコリを取り除くこと
毎年	故障予防・衛生・安全のために、カッター、クラッチ、コンテナカバー部一式を交換すること推奨

※電気部品以外(カッター、パッキン、フィルキャップなど)は保証対象外となります

— 故障かと思ったときは—

不具合内容	確認内容
動かない	電源プラグをコンセントに差していますか？
	タコ足配線などして、分電盤のブレーカーは落ちていませんか？
	カバー連動表示ランプが点滅していませんか？
	コンテナカバーは閉じていますか？
	モーターがオーバーヒートを起こして停止したかもしれません。 モーターを冷ましてから再び操作してください 次の操作からは容量や運転時間を減らすようにしてください
メニューがうまく攪拌できない	3分以上運転していませんか？ 本機は連続運転3分で自動的に停止します
	食材が滑らかに攪拌されるための最低限の水分が必要です その量は食材、分量、塩分、糖分などメニューにより異なります
	食材が固い、または大きすぎる可能性があります 小さくしてください
	カッターが劣化していませんか？
	カッターが適切に取り付けられていますか？
	クラッチが摩耗してモーター動力の伝達が不十分になっていませんか？
	メニューに適していないスピードかもしれません 調節し直してください 最初にパルスを小刻みに操作して粗く攪拌することもコツです

不具合が改善されない場合は、販売店にご相談ください。その際は「型式：HBF900S」を必ず伝えてください。